

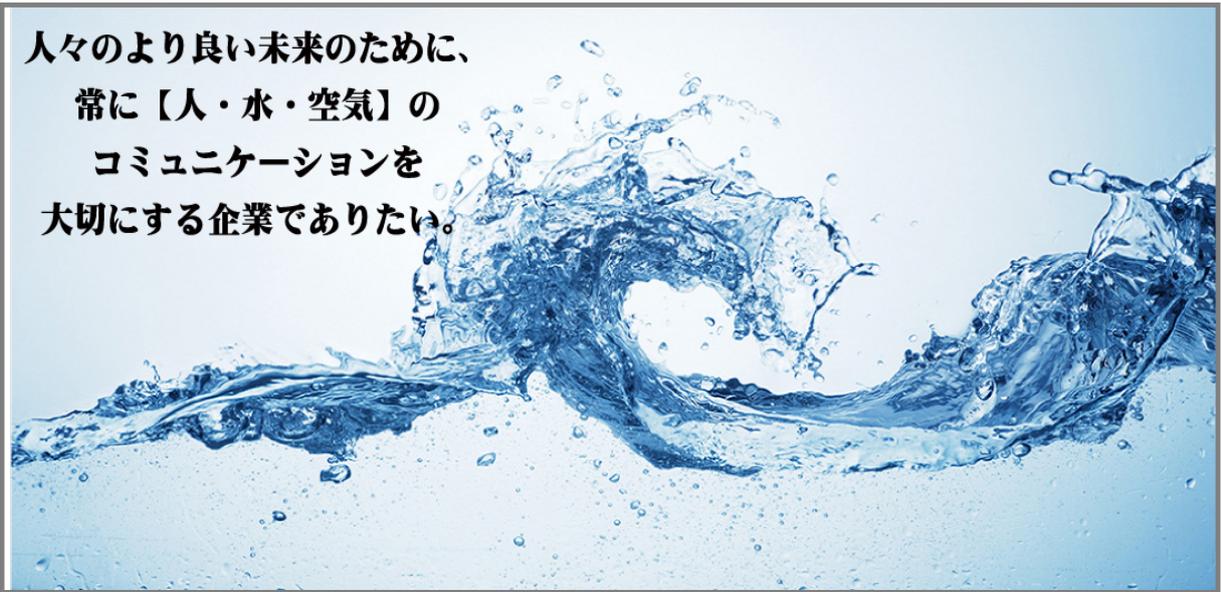
エコアクション21

環境経営レポート

2022年度試行運用版

(運用期間:2022年10月~12月)

人々のより良い未来のために、
常に【人・水・空気】の
コミュニケーションを
大切にする企業でありたい。



発行日:2023年8月30日

株式会社アクエアー

目 次

1. 組織の概要	1
2. 認証・登録の対象範囲	1
3. 実施体制	2
4. 環境経営方針	3
5. 環境経営目標	4
6. 環境経営計画	5
7. 環境経営目標の実績	6
8. 環境経営計画の実施状況、及びその評価	7
9. 次年度(2023年度)計画	8
10. 環境関連法規定等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無	9
11. 代表者による全体評価と見直しの結果	9

1. 組織の概要



(1) 事業者名 代表者氏名	株式会社アクエアー 代表取締役 大田 健
(2) 事業所所在地	本 社 〒813-0062 福岡県福岡市東区松島三丁目14番6号 江辻資材置場 〒811-2313 福岡県糟屋郡粕屋町大字江辻今石800番1
(3) 環境管理責任者 担当者氏名 連絡先	常務取締役 中石 純司 事 務 松田 桃果 TEL 092-260-7298 FAX 092-260-7299 Eメールアドレス aquair2@aquair-inc.biz
(4) 事業の内容	空調設備工事、給排水・衛生設備工事、防災設備工事、上水道布設工事 http://www.aquair-inc.com/
(5) 事業の規模	資 本 金 500 万円 従 業 員 14 名 床 面 積 ・ 本 社 (事 務 所) 111.80 m ² " " (倉 庫) 19.77 m ² 敷 地 面 積 ・ 江 辻 資 材 置 場 545.08 m ² 売 上 高 45,619万円 (2022年度)
(6) 事業年度	1月～12月

2. 認証・登録の対象範囲

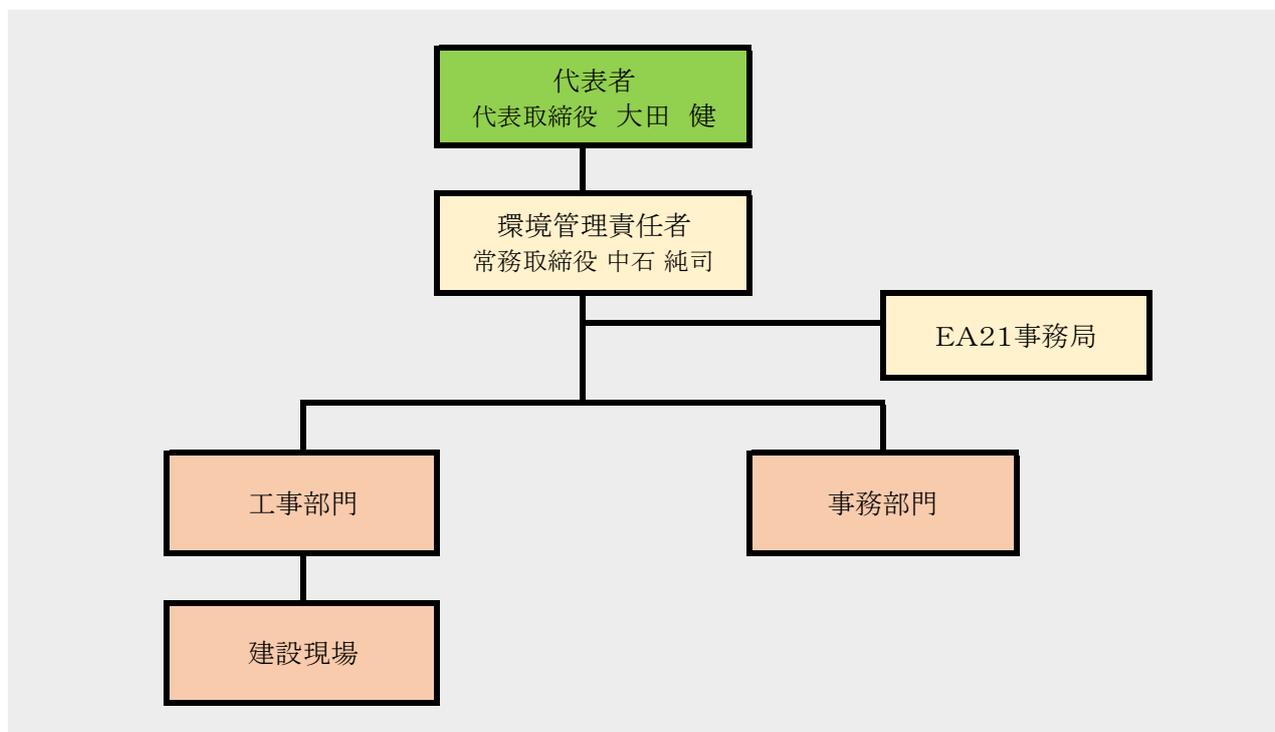


(1) 対象事業所	本 社、江辻資材置場
(2) 対象事業活動	空調設備工事、給排水・衛生設備工事、防災設備工事、上水道布設工事

3. 実施体制



・エコアクション21の認証取得のために、社内に次のような実施体制を構築し、それぞれの役割を定め、全社員が一丸となって計画に定めた取組を実施しました。



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する 環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する。 3か月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する。 上記の結果を代表者に報告する。
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
各部門	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する 環境経営目標達成に向けての積極的な取り組み 環境経営計画の実施 発生した問題点の把握と是正、予防処置を実施する 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

4. 環境経営方針



株式会社 アクエアーは、空調設備、衛生設備工事の設計施工を事業の柱にし、「水・空気」のプロフェッショナルとして、常にお客様や社会より信頼され、持続的に成長できる企業を目指してまいります。

環境づくりでは省エネルギー、CO₂削減で地球環境負荷の低減を実現する建築設備をご提供し、積極的に環境への取り組みを推進します。

1. 次の項目を重点項目として継続的に改善し、積極的に取り組みます。

- (1) 電力、燃料等エネルギーの省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
- (2) 廃棄物排出量の抑制と資源のリサイクルに努めます。
- (3) 節水に努め、水使用量を削減します。
- (4) 化学物質の適正管理をいたします。
- (5) 環境に配慮した施工を行います。
- (6) この環境経営方針を全社員に周知し、取り組みます。

2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。

3. 地域貢献活動を推進します。

制定日 2022年9月17日



株式会社アクエアー

代表取締役 大田 健

5. 環境経営目標



- ・環境経営目標は、現在の事業活動を踏まえて今回の試行運用期間を含め2022年度～2025年度までの中長期目標として、以下の6項目11目標を設定しました。
- ・削減目標(1,2,3)については、2021年度実績値を基準に毎年1%ずつ加算して削減し、2022年度試行運用期間では1%削減を、2025年度までに4%の削減を目指します。
- ・なお、基準年の実績が不明の一般廃棄物排出量と化学物質使用量については、現状把握からスタートして、その実態を踏まえて2023年度以降の目標を設定することとしました。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年		単年度目標		中長期目標		
			2021年度実績値		2022年度(1%削減)		2023年度	2024年度	2025年度
			年間	3カ月	年間	試行期間	(2%削減)	(3%削減)	(4%削減)
			2021年1月～2021年12月	2021年10月～2021年12月	2022年1月～2022年12月	2022年10月～2022年12月	2023年1月～2023年12月	2024年1月～2024年12月	2025年1月～2025年12月
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	76,173	21,859	75,411	21,640	74,650	73,888	73,126
(1)電気使用量削減	事務所	kWh	11,476	2,576	11,361	2,550	11,246	11,132	11,017
(2)ガソリン使用量削減	事務所	L	5,269	1,391	5,216	1,377	5,164	5,111	5,058
	現場	L	7,127	2,001	7,056	1,981	6,984	6,913	6,842
(2)軽油使用量削減	現場	L	16,637	5,031	16,471	4,981	16,304	16,138	15,972
2. 廃棄物排出量の削減									
(1)一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	不明	不明	現状把握	現状把握	2022年度実績から目標を設定する		
(2)産業廃棄物リサイクル率の向上	現場	%	77	77	75	75	75	75	75
3. 水使用量の削減	全社	m ³	98	32	97	32	96	95	94
4. 化学物質の適正管理	現場	kg	不明	不明	現状把握	現状把握	2022年度実績から目標を設定する		
5. 環境に配慮した施工	現場	-	-	-	環境に配慮した施工に関する教育を行う				
6. 地域貢献活動の推進	全社	-	-	-	福岡市との防災協定に基づき防災訓練を行う				

備考)・購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力(株)の2021年度調整後排出係数(0.391kg-CO₂/kWh)を使用した。

・()は基準年実績値に対する削減率を示す。

・サイト区分の全社とは事務所+現場を示す。

6. 環境経営計画



・環境経営目標を達成するために、以下に示す具体的な活動項目と責任者、担当者、スケジュールを決めて、全社員一丸となって取り組みました。

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	スケジュール
(1) 電気使用量の削減	事務所	① エアコンのフィルターの清掃	常務	堤	8月・12月
		② エアコンの適正温度管理			通年
		③ 不用な照明の消灯を徹底			
		④ コピー機やパソコンを省電力モードに設定			
		⑤ 不要なコンセントは抜き、待機電力を減らす			
(2) ガソリン使用量の削減	全社	① アイドリングストップ	専務	月下	通年
		② 日々の燃費を把握し、エコドライブを遂行			
		③ 買替時は低燃費車を選択			
		④ 同目的地への移動は乗り合わせる			
(3) 軽油使用量の削減	現場	① 日々の燃費を把握し、エコドライブを遂行	専務	下間	通年
		② 同目的地への移動は乗り合わせる			

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	スケジュール
(1) 一般廃棄物排出量の削減	事務所	① 紙使用量の削減に向け、電子保存を推奨	常務	淵上	通年
		② 社内書類は裏紙を使用			
		③ 排出量を計測して記録する			
(2) 産業廃棄物リサイクル率の向上	現場	① 分別によるリサイクルの推進	専務	西田	発生毎
		② 転用可能な資材の活用			4月～6月
		③ 委託先の処理場見学			

3. 水使用量の削減

取組目標	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	スケジュール
(1) 水使用量の削減	全社	① 節水シールを貼り、節水を心がける	常務	坂口・松田	通年
		② 洗車はバケツを使う			

4. 化学物質の適正管理

取組目標	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	スケジュール
(1) 化学物質の適正管理	現場	① 数量を把握し、適正に管理する	専務	坂元	通年

5. 環境に配慮した施工

取組目標	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	スケジュール
(1) 環境に配慮した施工に関する教育	現場	① 環境負荷の少ない再生素材を積極的に使用すること等教育する	専務	月下・矢野	4月

6. 地域貢献活動の推進

取組目標	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	スケジュール
(1) 地域貢献活動の推進を行う	全社	① 福岡市との防災協定に基づき、円滑な防災活動に向けて防災訓練等に積極的に参加する。	専務	古田・飯嶋	10月～12月

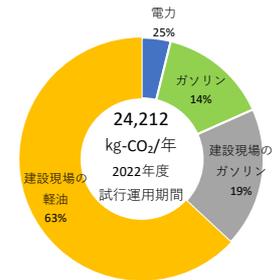
7. 環境経営目標の実績

- 2022年度試行運用期間における環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した6項目11目標のうち5項目8目標で達成でき、この間はシステム運用上の大きな問題もなく、概して良好な結果となりました。
- 最大の環境負荷である二酸化炭素排出量については、目標達成率89%で僅かに目標を達成できませんでしたでしたが、今後の取組如何では十分達成可能なレベルにあります。

- 今後は当社のCO2排出構造から、全体の9割以上を占めている営業車や工事車両のガソリン、軽油使用量を抑制するため、エコドライブや燃費の良い車両の入れ替え等環境対策を強化して、目標達成を目指します。

- なお、今回は現状把握とした一般廃棄物と化学物質については、ある程度排出・使用実態が把握できた時点で適切な目標を設定していきます。

当社のエネルギー別CO₂排出構造



環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	2022年度試行運用期間 (2022年10月～12月)		目標達成率	達成状況判定
			2021年度実績	目標 (1%削減)	実績		
1. 二酸化炭素排出量削減	全社	kg-CO ₂	21,859	21,640	24,212	89%	△
(1)電力使用量の削減	事業所	kWh	2,576	2,550	2,382	107%	○
(2)ガソリン使用量の削減	事業所	L	1,391	1,377	1,509	91%	△
	現場	L	2,001	1,981	1,947	102%	○
(3)軽油使用量の削減	現場	L	5,031	4,981	5,914	84%	△
2. 廃棄物排出量の削減							
(1)一般廃棄物排出量の削減	全社	kg	不明	現状把握	128 (可燃ごみ)	-	○
(2)産業廃棄物リサイクル率の向上	現場	%	77	75	75	100%	○
3. 水使用量の削減	全社	m ³	32	32	21	151%	◎
4. 化学物質の適正管理	現場	kg	不明	現状把握	0	-	○
5. 環境に配慮した施工 (関連教育の実施)	現場	-	-	環境配慮施工に関する教育の実施	実施した	-	○
6. 地域貢献活動の推進 (防災訓練の実施)	全社	-	-	防災訓練の実施	実施した	-	○

備考) ◎:120%≤目標達成率 ○:100%≤目標達成率<120% 又は達成できた △:80%≤目標達成率<100%

×:目標達成率<80% -:判定不可

・目標達成率の計算 削減目標の場合:目標÷実績×100、増加目標の場合:実績÷目標×100

8. 環境活動計画の実施状況、及びその評価



- ・環境経営計画で設定した活動項目については、車両関係の対策で取組不良がみられましたが、全体としては概ね良好な結果となっています。
- ・次年度は、エコドライブの周知徹底を図り、ガソリン、軽油使用量を抑制し、CO2排出量の抑制に繋げていきます。

1. 二酸化炭素排出量の削減

項目	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	取組実施状況	評価
(1)電気使用量の削減	事務所	①エアコンのフィルター清掃	常務	堤	○	概ね達成できたが、コロナ禍において換気を行いながらエアコンを使用したため、電気代が増加した。
		②エアコンの適正温度管理			△	
		③不用な照明の消灯を徹底			○	
		④コピー機やパソコンを省電力モードに設定			○	
		⑤電源を抜き、待機電力を無くす			○	
(2)ガソリン使用量の削減	全社	①アイドリングストップ	専務	月下	△	年末にかけて繁忙期となり、ガソリン使用量が増加した。
		②日々の燃費を把握し、エコドライブを遂行			×	
		③買替時は低燃費車を選択			-	
		④同目的地への移動は乗り合わせる			×	
(3)軽油使用量の削減	現場	①日々の燃費を把握し、エコドライブを遂行	専務	下間	×	年末にかけて繁忙期となり、軽油使用量が増加した。
		②同目的地への移動は乗り合わせる			×	

2. 廃棄物排出量の削減

項目	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	取組実施状況	評価
(1)一般廃棄物排出量の削減	事務所	①紙使用量の削減に向け、電子保存を推奨	常務	澁上	△	裏紙使用を徹底的に行い、紙ゴミを削減することが出来た。
		②社内書類は裏紙を使用			○	
		③排出量を計測して記録する			○	
(2)産業廃棄物リサイクル率の向上	現場	①分別によるリサイクルの推進	専務	西田	○	概ね達成できた。
		②転用可能な資材の活用			○	
		③委託先の処理場見学			○	

3. 水使用量の削減

項目	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	取組実施状況	評価
水使用量の削減	全社	①節水シールを貼り、節水を心がける	常務	坂口 松田	○	感染予防対策としてこまめに手洗い等を行い達成することができなかった。
		②洗車はバケツを使う			△	

4. 化学物質の適正管理

項目	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	取組実施状況	評価
化学物質の適正管理	現場	①数量を把握し、適正に管理する	専務	坂元	△	数量を把握し、製品中の化学物質含有量をSDSにより確認をした。

5. 環境に配慮した施工

項目	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	取組実施状況	評価
環境に配慮した施工に関する教育	現場	①環境負荷の少ない再生素材を、積極的に使用すること等を教育する	専務	月下 矢野	○	再生砂等を使用している。

6. 地域貢献活動の推進

項目	サイト区分	活動項目	責任者	担当者	取組実施状況	評価
地域貢献活動の推進を行う	全社	①福岡市との防災協定に基づき、円滑な防災活動に向けて防災訓練等に積極的に参加する	専務	古田 飯嶋	○	実際の火災を意識して取り組む。

備考) 実施状況判定区分 ◎:よく実施できた(定着) ○:実施できている △:ほぼ実施できている ×:実施できていない -:判定不可

9. 次年度(2023年度)の計画



(1) 環境経営目標

- ・2022年度試行運用期間における目標達成状況が概ね良好であったため、次年度(2023年度)目標は中長期目標の2023年度を適用します。
- ・なお、「現状把握」を目標としていた一般廃棄物と化学物質については、把握した実績値から2023年度以降の目標を設定(一般廃棄物:実績値から1%削減、化学物質:同期間での使用実績がないため定性目標)しました。

環境経営目標	サイト区分	単位	基準年	単年度目標	中長期目標		
			2021年度実績値	2022年度 (1%削減)	2023年度 (2%削減)	2024年度 (3%削減)	2025年度 (4%削減)
			2021年1月～ 2021年12月	2022年1月～ 2022年12月	2023年1月～ 2023年12月	2024年1月～ 2024年12月	2025年1月～ 2025年12月
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	76,173	75,411	74,650	73,888	73,126
(1) 電気使用量削減	事務所	kWh	11,476	11,361	11,246	11,132	11,017
(2) ガソリン使用量削減	事務所	L	5,269	5,216	5,164	5,111	5,058
	現場	L	7,127	7,056	6,984	6,913	6,842
(2) 軽油使用量削減	現場	L	16,637	16,471	16,304	16,138	15,972
2. 廃棄物排出量の削減							
(1) 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	不明	現状把握 (128)	127	125	124
(2) 産業廃棄物リサイクル率の向上	現場	%	77	75	75	75	75
3. 水使用量の削減	全社	m ³	98	97	96	95	94
4. 化学物質の適正管理	現場	kg	不明	現状把握 (0)	化学物質を適正管理する		
5. 環境に配慮した施工	現場	—	—	環境に配慮した施工に関する教育を行う			
6. 地域貢献活動の推進	全社	—	—	市との防災協定に基づき防災訓練を行う			

備考)・購入電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力(株)の2021年度調整後排出係数(0.391kg-CO₂/kWh)を使用した。

- ・()は基準年実績値に対する削減率を示す。ただし、一般廃棄物は2022年度試行運用期間で把握した実績値(103kg)の年間換算値(412kg)を基準に2023年度から1%ずつ削減率を加算して設定した。
- ・サイト区分の全社とは事務所+現場を示す。

(2) 環境経営計画

- ・環境経営目標の達成状況と環境経営計画の実施状況との関係から、目標未達成となった二酸化炭素排出量(ガソリン、軽油)については、使用する車両のエコドライブを重点取組項目と位置づけて社内でも周知徹底していきます。
- ・その他の取組項目については、「6. 環境経営計画」に基づき次年度も取組を継続していきます。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無



- ・当社が遵守すべき主要な環境関連法等は以下のとおりです。
- ・2022年度試行運用期間終了後に法令遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

環境関連法規等	遵守事項等	遵守評価
廃棄物処理法	委託業者との契約、マニフェストの管理、産業廃棄物の保管等	○
建設リサイクル法	発注者への再資源化の説明と特定建設資材の再資源化	○
フロン排出抑制法	簡易点検、記録の作成保存等	○
労働安全衛生法	健康診断の実施	○

備考) 遵守評価区分 ○:遵守、×:不遵守、-:該当なし

11. 代表者による全体評価と見直し



(1) 取組状況の全体評価

- ・試行運用期間において、環境経営目標で達成できていない項目もありましたが、全体的には概ね適切に取り組むことができています。
- ・ガソリンや軽油使用量については、現場の増加もあり、やむを得ないところもありますが、今後は環境問題への意識の向上を図り、環境負荷の更なる低減に努めてまいります。
- ・今後も積極的に環境への取組を推進し、社会より信頼され成長できる企業として継続的に取り組んでまいります。

(2) 次年度計画の見直し

- ・次年度計画は、今回の試行運用が3カ月と短いこともあって、引き続き当初計画でシステム運用を行い、実績データを蓄積した後に見直しの必要性を検討していきます。